



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局	配布日時	平成29年 7月26日 14時00分
資料配布		

件名	<h1>13のシーズ技術をプレゼン!</h1> <h2>～『第1回ピッチイベント』開催～</h2>
----	---

概要	<p>○「インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム」では、施設管理者等が抱える施設管理の課題（テーマ）に対し、民間事業者等が保有する最新のシーズ技術<sup>*1</sup>を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図る「ピッチイベント<sup>*2</sup>」を開催します。</p> <p>※1 メーカー・企業などが提供する技術や商品等          ※2 短い時間で自社の製品やサービスを紹介（プレゼン）するイベント</p> <p>■日 時：平成29年7月28日（金） 14:00～17:30          ■場 所：オリックス本町ビル 3階大会議室          （大阪市西区西本町1-4-1）</p> <p>○「ピッチイベント」では、施設管理者等が抱える課題に対し、民間企業等から、保有するシーズ技術についてプレゼンテーション等を行っていただきます。</p> <p>（参考）          「インフラメンテナンス国民会議」とは、社会全体でインフラメンテナンスに取り組む機運を高め、未来世代によりよいインフラを引き継ぐべく、産学官民が有する技術や知恵を総動員するために設立されたプラットフォームです。          （詳細は<a href="http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/im/index.html">http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/im/index.html</a>をご参照下さい。）</p>
----	--

取扱い	—
-----	---

発表場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ
------	--------------------

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 企画部 事業調整官 福岡 成和 企画部 企画課課長補佐 かわしま たかひろ 川島 隆宏 TEL : 06-6942-1141（内線 3116、3156）、06-6942-4090（直通）
------	---

# インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 第1回ピッチイベント（橋梁点検技術・下水道点検技術）

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラムでは、これまでに3回のフォーラムを開催し、公共施設を管理する自治体等から寄せられたメンテナンスに係る課題解決に向けて民間事業者のアイデアやノウハウなどをもとに議論を重ねてきました。

今回、民間事業者等が保有する最新の技術やノウハウを持ち寄り、シーズ技術を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図る「第1回ピッチイベント」を下記のとおり開催します。

ピッチイベントでは、別紙1に示す施設管理者等が抱える課題（5テーマ）に対し、民間事業者等から保有するシーズ技術についてプレゼンテーションを行っていただきます。

## 記

■開催日時 : 平成29年7月28日（金）14:00～17:30

■開催場所 : オリックス本町ビル 3階 大会議室（大阪市西区本町1-4-1）

■保有するシーズ技術をプレゼンテーションしていただく民間事業者等

- ・(株) F A Drone 「非GPS環境内ドローン飛行の必須技術（位置推定、飛行制御）」
- ・(株) アスコ大東 「地下空間を三次元で可視化する技術」
- ・長野計器(株) 「光ファイバ音響分布センサによる地下道モニタリング」
- ・(株) クボタ 「下水圧送管路における硫化水素腐食調査技術」
- ・西日本高速道路エンジニアリング四国(株)  
「赤外線調査による高精細コンクリート診断技術」
- ・西日本高速道路エンジニアリング関西(株)  
「コンクリート構造物の画像を用いて変状等を確認する技術」
- ・(一社) NME 研究所  
「狭幅員橋梁に用いる移動式検査路」
- ・(株) 土木管理総合試験所  
「高速移動型探査車を活用した橋梁床版の超高速劣化診断」
- ・沖電気工業(株) 「音響解析技術による打音検査支援」
- ・応用技術(株) 「橋梁点検効率化のためのAIを利用した携帯検査器」
- ・京橋ブリッジ(株) 「安価な市販品などを使ったやりくり橋梁診断事例」
- ・阪神高速技術(株) 「診断・補修を見据えた点検の高度化・効率化」
- ・内外構造(株)、(株) 日立産業制御ソリューションズ、オリンパス(株)  
「橋梁の近接目視点検を支援するカメラ技術等の活用」

※本ピッチイベントの結果、公共施設管理者のニーズに適応する可能性が高いと認められた技術については、実用化の可能性を検証するフィールド実証実験の実施を想定しています。

## ★テーマ①（下水関係）

## 下水道管渠の点検診断の効率化技術

## 【求める技術】

## ●圧力式下水道管渠内の点検ができる技術

- ・点検項目は、下水道用ダクティル鑄鉄管モルタルライニング(JSWAS G-1)の損傷の確認

【条件】◇下水道管渠の内径はφ150mm、φ200mm、φ250mmのいずれか

◇点検延長は400m～1,200m

## ★テーマ②（下水関係）

## 共同溝下水道専用洞道の近接目視を支援する技術

## 【求める技術】

## ●従来、点検員が立ち入り実施してきた管内もしくは洞道内を無人で点検ができる技術（点検可能距離は不問）

- ・点検項目は、内径の確認、漏水の有無、さび・腐食の状況、亀裂などのいずれか

【条件】◇機器等を配置するために作業員の一時的な出入りのみ可能

## ★テーマ③（橋梁関係）

## 橋梁点検の効率化技術

## 【求める技術】

## ●橋梁の近接目視点検を支援する技術、または打音検査を支援する技術、または点検者の移動を支援する技術

【条件】◇桁下の条件により、高所作業車の使用、梯子・足場の設置が困難

◇道路は通行止め不可（一時的・短時間の通行止めは可能）

## ★テーマ④（橋梁関係）

## 道路橋点検における近接目視を支援する技術

## 【求める技術】

## ●橋梁の近接目視点検を支援する技術、または打音検査を支援する技術

【条件】◇桁下が狭隘で点検員による近接目視が不可

## ★テーマ⑤（橋梁関係）

## 歩道橋・地下道・アンダーパスにおける化粧板等内部の近接目視を支援する技術

## 【求める技術】

## ●構造物の化粧板等で覆われている箇所近接目視点検を支援する技術、または打音検査を支援する技術（下記条件をすべて満たすもの）

【条件】◇化粧板等が本体構造物に固定

◇化粧板等への重量物の載荷は不可

◇化粧板等取り外し不可